平成３１年度　大間々北小学校　いじめ防止プログラム

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主ないじめ防止活動計画 | 留意点とポイント |
| 4月 | ○学校間、学年間の情報交換、指導記録の引き継ぎ  ○いじめ対策に関わる共通理解  ○いじめ未然防止会議編成  ○いじめ防止プログラムの作成  ○「教職員のいじめ防止宣言」作成・発表  ○学級開き、人間関係作り、学級でのルール作り  ○係、委員会活動、清掃当番、班決めで、前担任との情報交換  ○たてわり活動組織決定  ○「いじめ防止プログラム」の策定及び児童生徒、保護者への説明と啓発、地域、各関係機関への説明  ○１年生を迎える会の実施  ○大間々北小学校児童会スローガンの決定  ○いじめ防止ポスター（県教委作成）校内・教室掲示 | ・過年度までの生徒指導に関する事項を確実に引き継ぐ。  ・学校がいじめの問題に本気で取り組むことを示す。 |
| 5月 | 「いじめ防止強化月間」  ○１学期「いじめをゆるさない」キャンペーン  ・学級活動「いじめのない安らぎのある学級にするために」  ・グループエンカウンターの授業実践  ・児童会スローガンの決定を受け、各学級の「いじめゼロ宣言」を採択  ・「いじめゼロ宣言」の校舎内掲示  ○教育相談の実施  ○行事（修学旅行、社会科見学等）を通した人間関係作り  ○適応指導  ○いじめ防止実践としてのたてわり遊び | ・各担任、学年と教育相談部の連携の具体的な在り方を確認する。  ・生徒指導部と連携し、いじめ対策の点検を行う。 |
| 6月 | ○大間々北小学校いじめゼロ宣言の採択  ・各学級の「いじめゼロ宣言」を、中央委員会でまとめ、大間々北小学校いじめゼロ宣言を採択  ・にこにこ集会の実施、たてわり班旗の作成  ○大北小いじめゼロ宣言横断幕の作成・掲示  ○大北小いじめゼロ宣言を地域に発信する手段を、中央委員会で話し合う。  ○「Ｑ－Ｕ」の活用  ○いじめ防止実践としてのたてわり遊び  ○グループエンカウンターの授業実践 | ・児童の人間関係に変化が表れやすい時期。手紙のやりとりや物隠しなどに注意が必要。 |
| 7月 | ○学校評価の実施→児童生徒・保護者の意見を聞く  ○いじめ防止フォーラムへの参加(29年度は参加、28年度はなし)  ○いじめ防止ポスターの作成開始  ・「いじめ防止ポスター」の応募、校内掲示に向け、夏期休業等を利用して仕上げる  ○いじめ防止実践としてのたてわり遊び  ○グループエンカウンターの授業実践 | ・生徒指導部と連携し、いじめ対策の点検を行う。  ・学級のいじめ防止に対する意識喚起を行う。 |
| 8月 | ○夏期休業中の教育相談実施  ○教育相談に関わる研修講座への参加  ○ピア・サポート等の開発的教育相談の研修  ○「Ｑ－Ｕ」の結果分析と２学期の具体的手立てのまとめ  ○いじめ防止実践としてのたてわり遊び  ○グループエンカウンターの授業実践 | ・相談技術の向上を図る。 |
| 9月 | ○夏休み明けの児童の様子の観察  ○「いじめ防止ポスター」代表作品応募、校内掲示  ○運動会で地域に発信  ・いじめゼロ宣言のプログラム掲載と校庭掲示  ・児童会スローガンおよびたてわり班旗の校庭掲示  　（H29年度は実施せず）  ・放送アナウンスによるいじめ防止活動の啓発  ・開会セレモニーでの「いじめゼロ宣言」発表  ○適応指導（教育相談、運動会指導等）  ○グループエンカウンターの授業実践 | ・児童の変化を確認する。  ・「いじめ防止ポスター」「いじめ防止標語」の作品展をとおして、児童の意識を高める。 |
| 10月 | ○２学期中間振り返り  ・各学級の「いじめゼロ宣言」をもとに２学期の振り返りを行い、自分達の生活を見直す学活の実施  ○適応指導（教育相談、宿泊学習や社会科見学指導等）  ○いじめ防止実践としてのたてわり遊び  ○グループエンカウンターの授業実践 | ・児童主体の活動を保証し、自覚を促す支援を心掛ける。 |
| 11月 | ○「Ｑ－Ｕ」の活用  ○２学期「いじめをゆるさない」キャンペーン  ・「いじめのない、安らぎのある学級にするために」親子で考えるいじめ対策特別道徳授業の実践  内容項目は特に指定無し  ・人権教育、道徳、いじめ防止の連携  ・北小まつりの実施  ○いじめ防止実践としてのたてわり遊び  ○グループエンカウンターの授業実践 | ・児童の人間関係に変化が表れやすい時期。 |
| 12月 | 「いじめ防止強化月間」  ○人権週間での人権に関する学習の中にいじめ問題に関する内容を取り入れる  ○学校評価の実施→児童生徒・保護者の意見を聞く  ○「人権ポスター」「人権標語」の作成開始  （H３０年度「人権ポスター」は「いじめ防止ポスター」と兼ねた）  ○「人権ポスター」「人権標語」の掲示  ○グループエンカウンターの授業実践 | ・生徒指導部と連携し、いじめ対策の点検を行う。  ・人権感覚を高める。 |
| 1月 | ○冬休み明けの児童の様子の観察  ○いじめ防止実践としてのたてわり遊び  ○グループエンカウンターの授業実践 | ・児童の変化を確認する。 |
| 2月 | ○「いじめ防止プログラム」や学校評価等の検証  ○１年間を振り返り、学級活動「いじめのない、安らぎのある学級にするために」来年度へつなげる話し合いをする  ○適応指導（教育相談、６年生を送る会指導等）  ○いじめ防止実践としてのたてわり遊び  ○グループエンカウンターの授業実践 | ・クラス替えによる人間関係に不安を持ち始める時期。  ・「人権ポスター」「人権標語」の作品展をとおして、児童の人権に対する意識を高める。 |
| 3月 | ○記録の整理、進級する学年への引き継ぎ情報の作成  ○小中の情報連携のための連絡会及び指導情報の次年度への引き継ぎ  ○グループエンカウンターの授業実践 | ・生徒指導に関する情報を次年度へ引き継げるよう、落ちのないようにまとめる。 |